

(様式第4号)

協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	NPO 法人岡山聴覚障害者支援センター
	合同提案団体	
提案事業の名称	高齢聴覚障害者支援と啓発事業	
提案事業の目的	<p>介護保険サービス、障害者サービスに於いて、高齢聴覚障害者の場合、情報とコミュニケーション保障がされた事業所や機関がないため利用しにくい。また、高齢聴覚障害者が利用できる制度や政策もなく狭間におかれ、地域の公民館講座や介護予防教室なども同様に参加できにくい現状がある。</p> <p>情報が入りにくい障害と高齢とともなって起こる問題や課題を二重に抱え、孤立しやすい高齢聴覚障害者に、手話でコミュニケーションできる場を設けて、交流を通して学びや情報提供、生きがい作りを図り行っていく。</p> <p>行政と協働することで、手話でコミュニケーションできる場を市民に対しても広報でき、また拠点を活用して、行政と協働で情報発信することで福祉サービスや生活に必要な制度の利用に繋ぎ、地域で安心して生活できるよう高齢聴覚障害者の福祉の向上に寄与する。</p>	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<p>1. 解決する課題</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢聴覚障害者が利用できる制度・政策に対して、情報とコミュニケーションが保障されていない。・情報とコミュニケーションが保障される事業所や行政機関がない。・情報が入りにくい上、自ら発信できにくい聴覚障害ため、偏った情報で生活を余儀なくされ、必要な支援が届きにくい。・聴覚障害が外見上見えない障害だけに理解されにくい。 <p>2. 市民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none">・他の障害と比べて聴覚障害は外見だけでは判断しにくく、コミュニケーション方法が分からない。 <p>3. 課題解決の方策</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢聴覚障害者の交流や情報発信の場を提供することで、学びや情報入手ができ、生活に活かすことができる。・聴覚障害者支援センターの存在について、機関紙の配布や行政機関にパンフレット等を配布し広報する。また、ホームページを作成し広く周知する。・聴覚障害者理解のための市民向け講座を開催する。	

<p>協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を 含む)</p>	<p>1. 協働の必要性和相乗効果</p> <p>①情報が入りにくい高齢聴覚障害者に対して、当法人が運営している集い「ももハウス」を、市の広報誌など利用して情報提供することで利用者の広がりとともに市民への啓蒙・啓発が可能となる。</p> <p>②行政から発信される情報のなかでも特に、生活に関わる手話通訳の利用、健康、災害、緊急時の対応などを当センターが行政とのパイプ役となることで、高齢聴覚障害者に対して具体的にわかりやすく情報伝達をすることができる。そうした情報が入ることで、利用に結びつき、安心した生活を過ごすことができる。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢聴覚障害者の拠点となり、運営と推進と個々の必要性に応じた支援を行う。 ・ 学習や研修事業を通して、生活や支援に必要な情報提供を行う。 ・ 市民に向けての講座・教室（例：公民館、小中学校）、機関紙の発行や地域での手話教室開催を通して、聴覚障害者理解の啓蒙・啓発活動を行う。 <p>3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割</p> <p>障害福祉課…高齢聴覚障害者「ももハウス」の広報、情報提供 高齡福祉課…情報提供、介護予防に向けての実技指導 危機管理室…情報提供、災害時要援護者台帳の手続き支援 消防局 …情報提供、119FAXの試行</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <p>制度が利用できにくい高齢聴覚者に対して、情報保障と手話でコミュニケーションができる場の提供を継続することで、次の効果が期待できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢聴覚障害者へ生活に密着した情報提供ができることで、個々の生活の質の向上や安心した生活が図れる。 2) 集いや地域への参加や交流を通して、生活のめりはりや生きがいにつながり、介護予防としての効果が大きい。 3) 手話通訳利用に繋がる…新規利用者、頻度。 4) 災害時要援護者支援制度の理解や台帳に登録。 5) FAXでの救急車依頼の試行。 6) 地域に対して聴覚障害への理解が広がる。
--	--

<p>事業の内容</p>	<p>1. 高齢聴覚障害者支援事業… ※高齢聴覚障害者の「ももハウス」紹介パンフレットの作成やホームページを開設し、高齢聴覚障害者や関係機関に広報をする</p> <p>1) 「ももハウス」の開催：週2回 ①行政の協力を受け、生活に関わる話題を取り上げ、個々の生活に結び付けられるよう学ぶとともに情報提供を行う。 ②スタッフに対して、高齢者支援の理解や技術を深めるための研修を開催する。</p> <p>2) 相談（生活）支援：障害福祉課（専任通訳者）と連携しながら関係者・機関と繋ぐ。必要に応じて生活支援を行う。</p> <p>2. 啓発事業 地域に向けた手話教室：毎月第3金曜日に開催 地域の公民館や小中学校での出前講座（教室） 機関紙発行：2ヶ月に1回のペースで発行。活動や聴覚障害への理解を広める。 会員、関係者、機関に配布</p> <p>3. 関連事業 関係機関等の行事やイベントに参加：情報提供を行う。 バザー出店：手作り品などを出店し、制作意欲を盛り上げる。</p>
--------------	---

事業の実施体制	1. 総括責任者 代表理事 土屋 教子 2. 個別事業責任者 1) 「ももハウス」運営 平岡 弘美 2) 相談支援 羽原 裕子 3) 学習・研修 裏辻 節子 4) 啓発事業 中村 俊作 3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 1) 手話通訳士（者）また、手話ができるスタッフが支援にあたる。 2) 上記の資格他に、社会福祉士や聴覚障害者当事者団体の役員が相談や支援にあたる。 3) 学習・研修、啓発事業については、行政機関に協力を求める。															
事業スケジュール	・「ももハウス」開催日…週2回（火・金）10:00～15:00 第1火曜日に学習や研修等を行う ・相談支援…随時必要に応じて <table border="1" data-bbox="472 696 1453 1249"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/8（火）</td> <td>・岡山市ふれあい介護予防センターについて・介護予防体操など</td> </tr> <tr> <td>8/12（火）</td> <td>・緊急時の対応（119番FAX通信）について → FAXの試行・確認</td> </tr> <tr> <td>9/2（火）</td> <td>・防災について 「岡山市における防災対策、災害時要援護者支援制度について」 ・手話通訳の利用について</td> </tr> <tr> <td>11/4（火）</td> <td>・介護保険サービスについて 「在宅・施設における具体的サービス利用について」</td> </tr> <tr> <td>12/2（火）</td> <td>・「日常生活用具の利用」について</td> </tr> <tr> <td>2/3（火）</td> <td>・岡山市ふれあい介護予防センター…食生活について、介護予防体操など</td> </tr> </tbody> </table> ・地域の公民館や小中学校へ出前講座（教室）を実施…（案）10月・12月・2月 ※添付資料参照		月	実施事業内容	7/8（火）	・岡山市ふれあい介護予防センターについて・介護予防体操など	8/12（火）	・緊急時の対応（119番FAX通信）について → FAXの試行・確認	9/2（火）	・防災について 「岡山市における防災対策、災害時要援護者支援制度について」 ・手話通訳の利用について	11/4（火）	・介護保険サービスについて 「在宅・施設における具体的サービス利用について」	12/2（火）	・「日常生活用具の利用」について	2/3（火）	・岡山市ふれあい介護予防センター…食生活について、介護予防体操など
月	実施事業内容															
7/8（火）	・岡山市ふれあい介護予防センターについて・介護予防体操など															
8/12（火）	・緊急時の対応（119番FAX通信）について → FAXの試行・確認															
9/2（火）	・防災について 「岡山市における防災対策、災害時要援護者支援制度について」 ・手話通訳の利用について															
11/4（火）	・介護保険サービスについて 「在宅・施設における具体的サービス利用について」															
12/2（火）	・「日常生活用具の利用」について															
2/3（火）	・岡山市ふれあい介護予防センター…食生活について、介護予防体操など															
実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岡山市聴覚障害者協会</td> <td>当事者団体会員他への情報提供</td> </tr> <tr> <td>岡山県聴覚障害者福祉協会</td> <td>当事者団体会員他への情報提供</td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割	岡山市聴覚障害者協会	当事者団体会員他への情報提供	岡山県聴覚障害者福祉協会	当事者団体会員他への情報提供									
名称	期待される役割															
岡山市聴覚障害者協会	当事者団体会員他への情報提供															
岡山県聴覚障害者福祉協会	当事者団体会員他への情報提供															
事業の展望及び今後の活動展開	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 <input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。 <input type="checkbox"/> その他（ ） ----- 具体的な目標（計画）があれば記載してください。 ・障害者総合支援法での地域生活支援事業として運用															

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名 高齢聴覚障害者支援と啓発事業

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	200,000	
	合同提案団 体負担金等		
自己資金等合計(a)		200,000	
事業 収 入 見 込 込	会費	200,000	法人年会費 年2,000円×100人
	参加費	256,000	ももハウス参加費 200円/日
	送迎費	448,000	送迎費 1人700円
	昼食代(おやつを含む)	640,000	昼食代 1人500円
	雑収入	50,000	手作り品等バザー出店
事業収入見込合計(b)		1,794,000	
岡山市補助金申請額(c)		541,000	
収入合計(c)=(a)+(b)+(c)		2,335,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業 実 施 経 費	人件費	1,117,400	料理、送迎、当日リーダー、講座派遣等手当て
	報償費	20,000	学習、研修の講師謝礼
	食材購入費	600,000	調味料、おやつ代も含む
	光熱費	100,000	電気、ガス、水道
	通信費	730,000	NTT、切手代
	使用料	134,000	家賃、会場費
	会議費	36,000	ももハウス運営会議 月1回開催
	保険料	111,000	火災保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償
	活動諸経費	50,000	ももハウスの活動に必要な物品購入
	印刷代	46,000	機関紙印刷(2ヶ月に1回発行)、パンフレット作成
	消耗費	47,600	コピー用紙、インク代、紙コップ、洗剤など
事業実施経費合計(d)		2,335,000	
管 理 運 営 費		0	
管理運営費合計(e)		0	
総事業費(f)=(d)+(e)		2,335,000	※収入合計(c)と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること

2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること